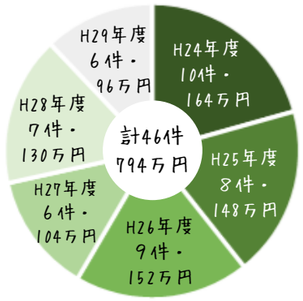
こうちこどもファンドの助成実績等



▲助成件数・助成額

皆様からいただいた寄附により、46件の活動に対して794万円を助成することができました（左図参照）。こうちこどもファンドの助成を受けて活動した子どもと、審査員を務めた子どもを併せると、約1,300人以上の子どもたち（平成24～29年度）がまちづくり活動に携わっています。また、たくさんの大人の方々も子どもたちのサポート役を務めてくださっており、本市におけるまちづくり活動の輪は着実に広がっています。

寄附のお申し込みについて

未来のまちづくりを支えるこどもたちへの応援の気持ちを、ぜひ個人・団体・企業の皆様からの寄附としてお寄せください。寄附のお申し込みについては、下記までお問い合わせをいただくか、または所定の「寄附申出書(ホームページからダウンロード可)」を記入し、下記まで送付願います。

ご寄附の方法

①納付書払い

市が寄附申出書を受領した後、所定の金融機関（四国・高知・高知信用金庫等）で使用できる納付書を郵送させていただきます。（振込手数料はかかりません）

②口座振込

市が寄附申出書を受領した後、振込先口座番号を文書でお知らせいたしますので、最寄りの金融機関からお振込みください（誠に恐縮ですが、振込手数料は寄附される方のご負担となります）。

ご寄附に関する広報

寄附をいただきました個人・団体・企業の皆様のお名前は、市ホームページやこうちこどもファンドの広報紙等で公表させていただきます。氏名の公表等を希望されない方は、お申し出ください。

税の軽減措置

ご寄附をいただいた場合、以下のような税の軽減を受けることができます。

①個人の場合

寄附される方の所得や寄附額に応じて、所得税・住民税の寄付金控除を受けることができます。所得税の確定申告または個人住民税の申告を行っていただく必要がありますので、所得税については税務署へ、住民税についてはお住まいの市町村税務所管課へお尋ねください。

②法人の場合

寄付金の全額を、法人税法上の損金に算入できます。

【発行元・問い合わせ先】平成30年11月発行
高知市市民協働部　地域コミュニティ推進課（〒780-8571　高知市鷹匠町２-１-43）
TEL：088-823-9080　FAX 088-824-9794　E-mail：kodomofund@city.kochi.lg.jp
URL：http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/
こどもファンドの情報をフェイスブックで発信しています！右のQRコードから、ぜひ「いいね」をお願いします。

高知市こどもまちづくり基金

こうちこどもファンド

「自由な発想は、土佐の高知から」

高知市では、こどもたちの自主的なまちづくり活動を応援しています。

皆様のご支援が、高知市の未来を創る子どもたちの力になります。

高知市では、平成24年度に高知市子どもまちづくり基金を設立し、こうちこどもファンド事業を開始しました。こうちこどもファンドは、高知市からの積立金と、この事業にご賛同いただいた皆様からの寄附によって、子どもたちの活動を支援する助成制度です。

社会全体から温かいご協力・ご支援を感じることは、活動している子どもたちの自信に繋がります。未来のまちづくりを支えるこどもたちへの応援の気持ちを、ぜひ皆様からの寄附としてお寄せください。

こどもたちの夢を応援！
こうちこどもファンド

こうちこどもファンドとは？

こうちこどもファンドとは、「子どもたちのアイデアで住んでいる地域等をより魅力的で住みよいまちにするための活動」「子どもたちの活動によって誰かが喜んでくれる活動」を応援する助成制度です。

こうちこどもファンドのしくみ

応募条件
① 18歳までのメンバーが３人以上いること
② ①のメンバーがひとつの家族（兄弟姉妹）だけでないこと
③ サポートしてくれる大人が２人以上いること

助成金額
１事業あたり 20 万円まで
※助成対象は、事業に必要な材料費・文房具代・印刷費・講師謝金等の経費です。

ポイント

制度の特徴
提案・審査・活動の全てにおいて「子どもが主体」となる、全国的にも珍しい制度です。

①申請（５月）
申込用紙を市へ提出

➡ ②公開審査会（６月）
子どもたちが活動を提案し、こども審査員と大人審査員が助成の可否を審査

➡ ③活動（７～２月）
子どもたちがまちづくり活動を実施

➡ ④活動発表会（３月）
子どもたちが活動成果を発表し、交流する

こうちこどもファンドがめざすもの

①将来のまちづくりを支える人材育成
②「子ども」を中心としたまちづくりの活性化
③子どもに優しいまち（高知市）の実現

これまでのまちづくり活動の実績

子どもたちの活動内容は、美化・防災・食・交流などさまざまです。子どもたちのアイデアから生まれ、子どもたちが主体となったまちづくり活動であれば、ジャンルを問わず活動することができます。

美化

シャッターの落書き消し

花の苗植え

ゴミ拾い

アルミ缶回収

防災

防災学習会の開催

お年寄りと避難訓練

逃げ地図づくり

避難看板作り

食

料理教室の開催

地域の畑で野菜づくり

地元食材を使った食事会

稲刈りの手伝い

交流

ダンスなどのステージ披露

お祭りへ出店

海外のことを教わる

スポーツ交流

※このほかにも、地域マップや新聞作成、商店街の振興、交通安全啓発、地域の食材を使ったレシピ作り、史跡めぐり、イベント開催など、さまざまな活動に助成を行いました。

こどもファンド経験者からの声

青木（あおき） 晴楓（はるか） さん
・H26～28年度こども審査員
・H29年度活動団体「にじいろ発見隊」こども代表者

私がこどもファンドに興味を持ったのは、「自分たちのまちをどう良くしていくか」について、子どもだけの力で決められることに新鮮味を感じたからです。
私は審査と活動の両方を経験し、２つの事に気が付きました。１つ目は「自分の思いが伝わって相手の心を動かすと、達成感を味わえる」ということ、２つ目は「どんな時でも笑顔で人に接する事の大切さ」です。
私はこどもファンドを経験し、「子どもだけの力でも、地域を思う心さえあれば、どんな事でもできる」と考えるようになりました。多くの人々に幸せを広げる「HAPPY SPIRAL」の心を、これからも大切にしていきたいです。